

# 整形外科 頸椎手術を受けられる

# 様

イベント	入院前日まで	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1～3日目	手術後4～9日目	手術10日目	手術11～14日目	退院日	
到達目標	手術に向けて不安が軽減できる			手術後に起こる苦痛が最小限に出来る			自立度に応じた日常生活が出来る。			退院後の生活がイメージ出来る
治療薬剤	手術日当日の薬は、手術に影響するため、医師の指示に従ってください。 	・持参した薬は、薬剤師に預けて下さい。預けた薬は薬剤師が確認します。 ・薬の内服は医師の指示によります。 ・弾性ストッキングの説明とサイズを測ります。サイズ確認後、洗い替えの購入をお願いします。	医師から指示された薬のみ使用します。 	・両足に弾性ストッキング、血栓予防の装置を装着します。 ・手術部位には、溜まった血液を出す管が入ります。 ・点滴は手術後3日間行います。	・手術後2日目以降に血抜きの管を抜き、ガーゼ交換をします。 ・弾性ストッキングは毎日履き替えます。 ・血栓予防の装置は、夜間のみ装着します。	・定期的に、主治医または回診で、傷の状態を確認します。 ・歩行ができ、医師の許可が出たら、弾性ストッキングと血栓予防の装置は終了です。	・医師が手術の傷を確認し、絆創膏を外します。	・退院、または転院に向けて医師から説明があります。	【薬剤師から】 ・薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります。 	
処置検査	・爪は短く切って下さい【入院日までに準備して下さい】 □現在使用中の薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため） □入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは、入院後になります） □入院案内 □書類（同意書等） □テープ式おむつ数枚（アメニティ利用の方は必要ありません） □その他	指定された時間までに、患者支援センターにお越し下さい。 ※付きそいの方も一緒に来院して下さい。	スタッフが声をかけますので、手術着に着替えていただきます。その後点滴を始めます。	心電図、酸素マスクを装着、開始します。	・手術翌日の朝に心電図、酸素マスクが終了します。 ・手術後1,3日目に採血をします。 ・手術後2日目にCT検査があります。 	・手術後7日目に採血、レントゲンの検査があります。採血の結果によっては足の超音波検査があります。	手術後10日目に、採血があります。	必要に応じて、検査を行います。		
リハビリ		【理学療法士から】 ・手術前の筋力などの評価をします。			【理学療法士から】 ・手術後1日目から、ベッド上で関節の運動や座位練習を開始します。 ・手術後2日目以降に、血抜きの管が抜けたら、車椅子移乗や、歩行器等を用いて歩行練習を開始します。 ・自主トレーニングの方法を指導します。			退院に向け、階段など自宅環境に応じた動作を練習します。		
活動安静度	※手術後に集中治療室へ行く場合は、荷物の持ち込みが出来ません。必要最低限の荷物をご持参下さい。持ち込みできないものは、持ち帰っていただきます。また、アメニティAセットの契約が必須となります。		・病棟の中でのみ、歩行は自由です。 	・手術後はベッド上安静です。 ・横を向く時は、看護師の介助が必要です。ナースコールで看護師を呼んでください。 ・定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します。 	・リハビリの状況により、安静度が変わります。 ・自身で動く許可があるまでは、看護師の介助が必要です。 ・基本的には、終日コルセットの着用となります。			退院後の活動度は、医師の指示に従ってください。 		
食事		常食、または既往歴により治療食となります。その後の絶食については、指示に従ってください。	・手術時間により、欠食・水分制限の指示があります。	・手術当日の飲食は、基本的に禁止です。 	【管理栄養士から】 ・手術翌日の朝に、飲み込みのテスト行います。問題無ければ、ゼリーから食事を開始します。 ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します。 ・ピクトグラムより食事の選択ができます（病状によっては選択ができません。操作法につきましては、看護師へお聞き下さい。）			退院後の食事は、医師の指示に従ってください。 		
清潔		手術開始時間により、シャワーが使用できます。	午後の手術の場合、午前中にシャワーに入ります。 		・午前中に体拭きをします。 ・医師の許可が出たら、週一回のシャワー浴が開始となります。他日は体拭きを行います。シャワーが開始できない場合、週1回洗髪・足浴をします。					
排泄		排便がなければ、午前手術の場合前日、午後の場合当日の朝に洗腸をします。	手術室入室前までに、手術室を済ませていただきます。	手術室で尿管を入れて帰室します。	・車椅子の移乗ができれば、尿管を抜きトイレで排泄します。それまではベッド上での排泄となります。	痛み、リハビリの状況によりトイレで排泄できます。				
看護	手術に向けて、不安が軽減できるよう支援します。	手術後に起こる苦痛を最小限に出来るよう、看護いたします。			日常生活の自立度に応じて、援助をしていきます。			退院後の生活に向けて支援します。		
入院による環境の変化や、身体への負担が軽減できるよう、環境調整を行います。										
患者さん・ご家族への説明	・ご不明な点は、お電話ください ・病院代表 0568-76-4131 入院前日までは整形外科外来 入院当日は6E病棟にお問い合わせください 	【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません。） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします。（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください。） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます。 ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します。	付き添いの方は、手術終了まで病室、またはエレベーター前の待合でお待ちください。 【医師から】 ★手術直後の説明が主治医よりあります。 ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます。	【医師から】 ★ご希望がある場合、必要に応じて経過の説明をいたします。 【看護師から】 ・退院後の生活に向けて、適宜説明を行います。 ・日常生活動作、自立度に応じて、必要時退院調整看護師がお話をお聞きます。 ・退院や転院が決まった場合、帰宅時の衣服を前日までにお持ち下さい。 	【看護師から】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります。 ・退院は午前11時までにとなります。 ・クラークが請求書を届けます。 ★病室内点検の後退院となります。 					